
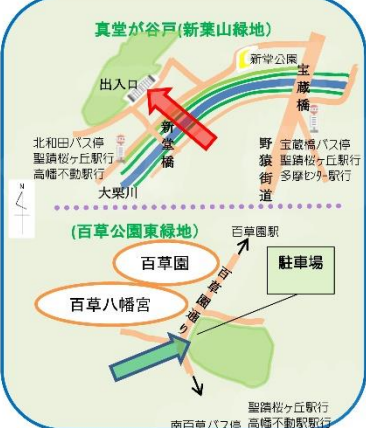


団 体 名	真堂が谷戸蛭の会
代 表 者 名	藤田正愷
連 絡 方 法	電話:090-4929-7362 又は事務局 笹木延吉:042-642-0422
団 体 案 内 (目的・趣旨)	日野市にわずかに生息する蛭を保全し、里山の生物多様性の復活。
設 立 年	2008 年
主 な 活 動 内 容	<p>活動は月三回、活動する場所は新葉山緑地と百草公園東緑地の二か所。年間の活動計画を立て作業を進めている。</p> <p>不耕起栽培に伴う田んぼの整備、水管理、畔のかさ上げ、水路のかいぼり、川底の掃除、水路沿いのくい打ち、草刈りや樹木の処理、生物調査、散策路の整備、環境調査など多岐にわたる。</p> <p>蛭の飛び交う時期には観察・調査のほか、市の「蛭の観察会」を共催で行う。</p> <p>百草公園東緑地では果樹の剪定、施肥および、植物の保護、樹木処理、粗朶による柵囲い等を行う。</p>
	 <p>(アカガエルやヒキガエル) オタマジャクシの保護</p>
主 な フィールド	新葉山緑地及び百草公園東緑地
活 動 日	月3回（第一月曜日、第三木曜日、第四土曜日）
会 員 数	26人
募 集	日野市在住・在勤者、真堂が谷戸近隣の住民及び「日野市雑木林ボランティア講座」卒業生に対し、常時募集しています。
そ の 他	クヌギ・コナラなどの枯れ枝が落下してくることが多くなり危険を感じている。
自 由 記 載	<p>田んぼは通年湛水とし、田植えに関しては不耕起栽培を行い、アカガエルやヒキガエルの産卵した卵塊をサギやカルガモ、他の動物から守るために田んぼの周辺を柵で囲い保護しています。ため池も異なる水深を設け幾種類かのヤゴが生育でき、多くのトンボが集まる環境作りも行っています。課題としては、少ないスタッフで蛭の観察会を開き、多くの来場者が訪れ観賞し感動していますが、蛭の保全活動に参加したいという希望者につながらないのが問題と感じています。会の運営は会費のみの少ない予算であるため、積極的な維持管理ができず、助成金申請作業負担も時として加わります。また蛭の生息する水路は、水量が少なく、日照りが続くと上流部が涸れる事態に発展するため蛭の幼虫やカワニナの生存が危ぶまれるため、安定した水量を確保する必要がありますが改善するには多額の工事費がかかるため、実現できていません。</p> <p>次ページに、団体紹介パンフレットを掲載</p>

日野市とのパートナーシップ協定
 令和2年3月1日、真堂が谷戸蛭の会は日野市と緑地管理・運営及び供用に関するパートナーシップの協定を結びました。この協定は日野市と当会とが、信頼関係に基づき真堂が谷戸(新葉山緑地)と百草公園東緑地を協力・連携し、管理運営するというものです。これにより、日野市の貴重な蛭の生息地、真堂が谷戸と水源を持つ百草公園東緑地の雑木林などが維持保全され更に、蛭などの生き物の安易な放流の禁止や、生物多様性に基づく活動などについても明記され、私達の思いが次世代に引き継がれます。

真堂が谷戸
 新葉山緑地：東西の丘陵があり、平地には、蛭、カワニナの生息する水路。トンボ、ヤマアカガエル、オモダカなど水生生物が生息する田んぼとため池。蝶や昆虫が舞う草地。丘陵には季節ごとの野鳥の声とクヌギ、コナラの落葉樹、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、コブシ、ジューニヒトエ、ヤマユリ、キンランが咲く起伏にとんだ多様な生態系のある里山です。
 百草公園東緑地：コナラ、ヤマツツジなどの樹林帯と柑橘類、種々の梅、キツリフネの群落のあるスロープ状の広々とした草地。この緑地に接する東には真堂が谷戸を流れる水路につながる水源があり、緑豊かで見晴良好的な場所です。



活動概要
 日野市にわずかに生息する蛭を保全し、里山の生物多様性の回復を目指す!!

- ・活動場所：真堂が谷戸(新葉山緑地) および百草公園東緑地
- ・活動内容：①蛭やカワニナ等の生息地の管理 ②雑木林の管理 ③畑やビートへの管理 ④ホタルの調査(6~7月15日毎月調査) ⑤日野市と共催で「ホタルの夕べ」開催 ⑥里山の動植物の調査等
- ・活動日：第1日曜日、第3木曜日、第4土曜日
- ・活動時間：9時30分~12時
- ・年会費：2,000円(ボランティア保険料含む)
- ・連絡先：代表 藤田正信 090-4929-7362 事務局 笹木延吉 090-6029-1811

里山の生物多様性の回復をめざして



蛭の夕べと観察会
 2013年、当会では、市民に対し蛭を通して自然環境を守る事の大切さを知ってもらうため、日野市に呼びかけ「蛭の夕べ」を共催で開催しています。まず地区センターで蛭などの環境保護の基礎知識を学習してから観察会が始まります。さらに、週末2回(4日間)、地域の方を対象に観察会も開催しています。

里山の植物等調査活動
 日野市の最新版の植物目録を作成するため、2021年2度(2回)にわたり、日野植物研究グループによる植物調査が行われました。調査資料には、木本16種その他草本235種、全311種が記載されました。当会ではその資料に基づき雑木林の樹木にラベル付けを始め、主要な樹は幹回りを計り、図に表し、それぞれの位置をマップに納めました。

不耕起栽培の田んぼ
 不耕起栽培は、冬期にも田んぼに水をはり、田植え後は除草剤や肥料は使わず、そのまま稲の生育を待つ収穫します。冬期に水をはることで2~3月には、ヤマアカガエルが産卵のため、水を求めて田んぼに集まります。